

企画展

あかり



角型有明あんどん

いろいろ

あかり(火)をつける

火打金と火打石を強く打ち合せて発火させるが、これを大きな火まで育てるには、かやなどの粉の火口や燃え易い枯木が必要で、火口は火打箱にたくわえられ使用されました。

油のあかり

古代は灯火の燃料として動物や魚の油脂が使われていましたが、後には植物油が灯火に使用されるようになりました。江戸時代になると菜種、綿の実、荳胡麻の栽培が普及し、あんどん用の灯油として需要が増加しました。



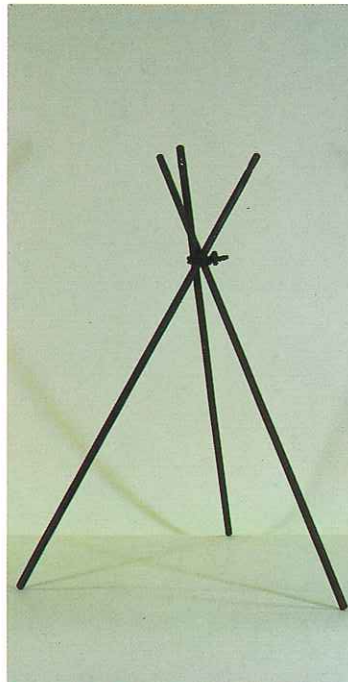
火打箱・火打金・火打石



ひょうそく



灯台型あんどん



鉄製三脚かがり



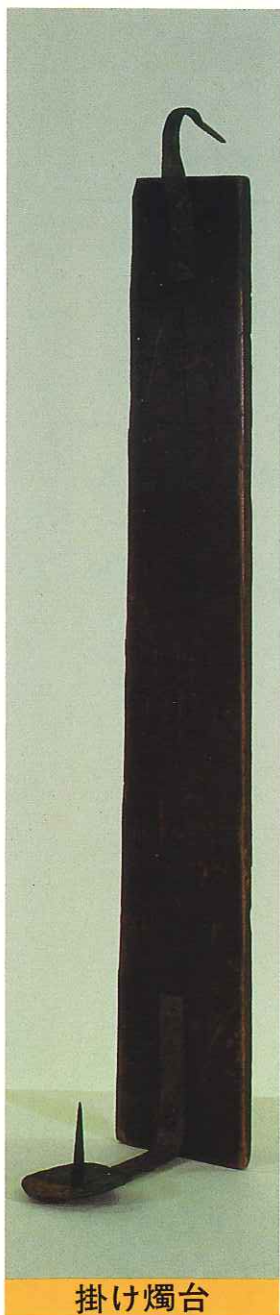
ランタン

な灯火具

ローソクのあかり

ローソクには、和ローソクとパラフィンワックスを材料にした洋ローソクがあります。

和ローソクは、「はぜ」や「うるし」の実から木蠟をしぼり取る製法が江戸時代に発達し、ちょうちんや燭台・手燭など各種の灯火具が作られるようになりました。



掛け燭台



銅製三脚燭台



鶏燭台



がندوق



小田原ちょうちん



手燭

展示品目録

No.	品名	No.	品名	No.	品名
1	角あんどん	17	舟ちょうちん	33	ひょうそく
2	高山あんどん	18	腰ちょうちん	34	油皿
3	ぼんぼり	19	小田原ちょうちん	35	油さし
4	風呂掛けあんどん	20	小田原ちょうちん	36	油つぼ
5	灯台型あんどん	21	弓張ちょうちん	37	鉄製掛け燭台
6	角有明あんどん	22	掛け燭台	38	銅製三脚燭台
7	角有明あんどん	23	掛け燭台	39	鉄製三脚燭台
8	かがり	24	掛け燭台	40	鉄製吊りかがり
9	がندوق	25	掛け燭台	41	三脚鉄製かがり
10	烽火	26	掛け燭台	42	寝間あんどん
11	ランタン	27	掛け燭台	43	菊座燭台
12	カーバイト灯	28	手燭	44	鉄製吊りぼんぼり
13	ひで皿	29	手燭	45	吊りかんでら
14	唐人燭台	30	十字手燭	46	その他、
15	油徳利	31	燭台兼用手燭		郷土館所蔵灯火具
16	火打ち箱	32	鶏燭台		

(出品協力 特種製紙株式会社)

三島にともった電気のみかり

駿豆電気株式会社創立の頃が最初か——。
 駿豆電気株式会社は、仁田大八郎・小柳津
 五郎・渡辺万介・贄川那作等を発起者として、
 明治29年6月に、資本金50万円をもって三島
 町六反田に創立された。配電区域は駿東・田
 方両郡下に及び、後には資本金を100万円に増
 資して、神奈川県湯ヶ原温泉までに区域を拡
 げた本県最大の電灯会社に成長した。

企画展・あかり

昭和62年5月3日～6月14日

三島市郷土館

〒411 三島市一番町19-3

電話 (0559)71-8228